

事務事業名	楡形北保育所維持管理事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5158				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	楡形北保育所		課長名	小野 まゆみ				
			所属担当	楡形北保育所		担当者名	小野 まゆみ				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	28	児童福祉の充実									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	児童福祉法・保育指針・南アルプス市立保育所条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 安全で快適な環境を維持するための施設管理経費。 主なものとして、消耗品の購入費、灯油・電気・水道・ガス代等の光熱水費、施設の修繕費、電話代、浄化槽点検・清掃等維持管理費、電気保守点検・設備管理委託料 マット・モップリース料、砂場砂の補充等、施設維持管理に係る経費。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
				需用費							
				役員費							
				委託料							
				使用料及び賃借料							
			原材料費				計		0		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⇒		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない		
26年度活動内容	・保育室の照明のLEDに変え光熱費の効率化を行う。 ・保育所管理運営の適正化と安全、安心な保育ができる環境づくりを	⇒	ア	予算額	円	
27年度活動予定	・園庭の整備し、安全な環境に整える。 ・保育所管理運営の適正化と安全、安心な保育ができる環境づくりを	⇒	イ			
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⇒		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない		
保育所施設及び施設に付随する設備		⇒		ア	施設・設備数	箇所
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⇒		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない		
保育所施設の安全で快適に過ごせる環境を維持することで、保育所運営を適切に運営できる。		⇒		ア	修繕箇所数	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⇒		イ	設備の不具合数	箇所
安心して子育てができる環境づくり		⇒		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない		
		⇒		ア	保育所に満足していると回答した保護者の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	4,276	4,197	4,175	4,488	4,488		
	人件費	事業費計(A)	千円	4,276	4,197	4,175	4,488	4,488	0	0
		正規職員従事人数	人	8	6	6	6	6		
		延べ業務時間	時間	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080		
		人件費計(B)	千円	9,466	9,466	9,466	9,466	9,466	0	0
		(A)+(B)	千円	13,742	13,663	13,641	13,954	13,954	0	0
活動指標	ア	円	4,323,000.0	3,984.0	3,984.0	3,984.0	3,984.0			
	イ		2.0							
	ウ		6.0							
対象指標	ア	箇所	5.0	8.0	8.0	8.0	8.0			
	イ									
	ウ									
成果指標	ア	件	4,271,000.0	5.0	5.0	5.0	5.0			
	イ	箇所	5.0	5.0	3.0	3.0	3.0			
	ウ									
上位成果指標	ア	%	62.0	70.0	70.0	70.0	70.0			
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和48年1月に新築開所し、さらに昭和54年に増築、平成16年3月に全面改築している。定員は100名である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	全面改築から9年が経過しているため修繕を必要とする箇所も年々増えてきている。園庭の水はけが悪いため雨水が溜まりやすくなっているが、支障をきたないように対処している。土の入れ替え等で改善する見込みもあり、
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	雨の日の送迎に関し、園庭入口の水はけが悪く水溜りが大きくなっていることから、改善要望が寄せられていた。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	事業経費の効率的、効率的な運用を実施してきている。 各保育所に共通する警備、遊具点検、消防点検、調理室消毒は本課で一括して契約を行い、安価で信頼できる業者と契約している。25年度に光熱水費を計画的に使う為無線式デマンドアラームを入れた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	前年度からデマンドアラームを活用し、光熱費管理に努める。例年の光熱費と比較しながら予算の範囲内で執行できるよう予算の把握に努めた。27年度予算で園庭の整備のための修繕費を予算化できた。

事務事業名	楡形北保育所維持管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	楡形北保育所
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 児童福祉の充実につながり、上位目的に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 民営保育所は、運営費が国・県からの交付金となるため、経費削減に繋がる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 安心して子育てが出来る環境づくりのためには継続が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設の修繕や設備の故障等、年々増えているため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ある程度の規模で推移しているため、統合は難しい <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 保育環境が維持できなくなり、就労支援が滞る。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 保育に欠ける児童の受け入れと保護者の就労支援をするための施設であるため休止・廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設の維持管理であり、保護者の協力等は既に実施している。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設の維持管理経費であり、人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設の維持管理のため、受益機会・受益者負担の適正化を見直す必要はない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設の改築後10年が経過しており設備等の修繕費も増加している。大きい修繕は計画的に毎年度要望していくことで実施していく。空調設備など保守点検等がされていないものもあり、定期的に子育て支援課で市内保育所統一で実施していくことが必要と思われる保守点検委託料の予算化必要性もあり、本課に要望した。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 冷暖房設備等、修繕費が大きくなるようなものについては保守点検等を実施し、さらに職員の自主点検の徹底を図っていく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					